

瀬谷区・旧上瀬谷通信施設ニュース

旧上瀬谷通信施設に関する情報を、区民の皆さまにお知らせします。

旧上瀬谷通信施設は、横浜のみならず首都圏でも貴重な広大な土地（約242ha）であり、農業振興と新たな都市的土地利用による郊外部の新たな活性化拠点の形成を目指しています。
 横浜市では、令和9年の2027国際園芸博覧会開催に向け機運醸成などの取組を進めています。また、将来の土地利用については、民有地の地権者の方々や区民の皆さまの意見を踏まえ、令和2年3月に策定した土地利用基本計画に基づき、検討を進めています。



※航空写真に概ねの範囲を明示したイメージ図です。

■旧上瀬谷通信施設の概要

- 旧上瀬谷通信施設は、平成27年6月に返還された米軍施設の跡地です。
- 戦後約70年間米軍施設として使用されてきたため、長年にわたって自由な土地利用が制限されており、市街化が抑制されてきました。
- 東名高速道路や保土ヶ谷バイパスに近接しており、広域での交通利便性が高い地区です。
- 地区内は横浜市内でも有数のまとまった農地があり、周辺には市民の森があるなど豊かな緑が広がっています。

□返還年月日	平成27年6月30日		
□所在地	瀬谷区 北町、瀬谷町、中屋敷三丁目 旭区 上川井町		
□面積	約242ha		
	国有地	約110ha	(45%)
	市有地	約22ha	(9%)
	民有地	約110ha	(45%)

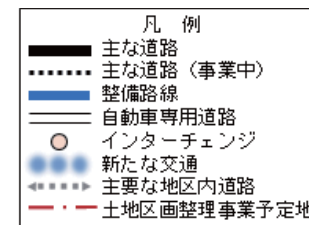
関連する取組

土地区画整理事業（まちづくり）

令和2年3月に策定した「旧上瀬谷通信施設土地利用基本計画」に基づき、農業振興ゾーンや観光・賑わいゾーン等の具体的な土地利用について、地権者と個別面談や意見交換等を行いながら、検討を進めています。

あわせて、市施行での土地区画整理事業実施に向け、都市計画法や環境影響評価法に基づく手続を進めています。

■問合せ 都市整備局上瀬谷整備推進課
TEL:045-671-2061/FAX:045-550-4098



土地利用基本計画（土地利用ゾーン）
（令和2年3月策定）

新たな交通の導入・周辺道路整備

新たな交通の導入では、これまでに実施した測量や地質調査などの成果を基に、引き続き設計を進めます。あわせて都市計画法、環境影響評価条例、軌道法に基づく手続を進めます。

周辺道路整備（八王子街道の拡幅、瀬谷地内線の整備）では、これまでに実施した測量や地質調査などの成果を基に、詳細設計を行うとともに、用地取得を進めます。あわせて関係機関との協議を行い、都市計画法に基づく手続などを進めます。

■問合せ：都市整備局上瀬谷交通整備課
TEL:045-671-4607/FAX:045-550-4106

国際園芸博覧会

国際園芸博覧会は、国際的な園芸文化の普及や花と緑のあふれる暮らし、地域・経済の創造や社会的な課題解決等への貢献を目的に開催されています。

A1（最高クラス）の国際園芸博覧会は、国際園芸家協会（AIPH）の承認及び博覧会国際事務局（BIE）の認定を受けて開催される国際的な博覧会です。日本では1990年に「国際花と緑の博覧会（花の万博）」が、アジアで初めてのA1の国際園芸博覧会として大阪で開催されました。横浜市もA1の国際園芸博覧会を開催します。

■問合せ：都市整備局国際園芸博覧会推進課
TEL:045-671-4627/FAX:045-212-1223

瀬谷区上瀬谷通信施設返還対策協議会の活動

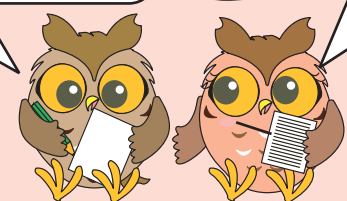
「上瀬谷通信施設」の返還後の跡地利用等について協議し、区民の意見及び要望を関係機関に伝えることを目的として平成27年7月1日に設置されました。

当協議会は、瀬谷区の約8割の世帯が加入している自治会町内会の地域ごとの長である全地区連合町内会長12名で組織されています。

旧上瀬谷通信施設に関する情報共有や具体的な課題に対する意見交換などを行っています。

区民の生活に特に影響の大きい課題について話し合っています。

これからも、旧上瀬谷通信施設の状況をお伝えしていきます。



(仮称) 旧上瀬谷通信施設公園 基本計画 (原案) が公表されました。

(仮称) 旧上瀬谷通信施設公園について、令和2年度に行った基本計画 (素案) に関する市民意見募集でいただいたご意見をもとに、関連事業の進捗などを踏まえた検討を加え令和3年6月に基本計画 (原案) を公表しましたので、お知らせします。

●問合せ 環境創造局公園緑地整備課 上瀬谷担当 TEL:045-671-4615/FAX:045-671-2724

(仮称) 旧上瀬谷通信施設公園 基本計画 (原案) 所在地：瀬谷区瀬谷町・旭区上川井町 / 面積：約45ha

【公園計画の基本テーマ】

「みどり」で広がる暮らしの風景 花と緑、農、水の風景が広がる上瀬谷で、「みどり」とともにある持続可能で多様なライフスタイルを実践・発信する。

【エリアの特徴】

現在の地形などをいかしなが大きく3つのエリアを設定し、施設の整備を行います。

みどりの賑わい・レクリエーションエリア

- ・スポーツも含むレクリエーションやアウトドア活動、憩いの場となり、災害時は広域応援活動拠点ともなるエリア
- ・公民連携により、公園の魅力や利用者サービス向上とともに街の賑わいにもつながる機能を配置

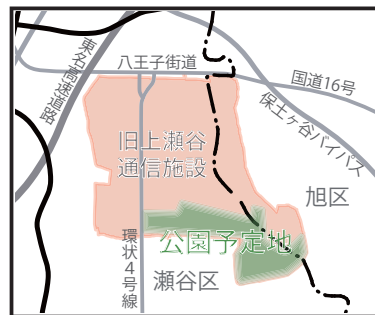
みどりの発信エリア

自然体験や農体験などを通して、自然と暮らしが調和する持続可能なライフスタイルを発信するエリア

みどりの実践エリア

自然とともにある心地よさや喜びを感じながら、森林浴やアウトドアの体験の場と地域の自然をいかした自然観察や環境学習などを行うエリア

【エリアの配置・主な施設】



- ・草地広場
 - ・硬式野球場
 - ・多目的広場
 - ・ドッグラン
 - ・大花壇
 - ・遊具広場
 - ・運動広場
 - ・パークセンター
 - ・桜並木
 - ・飲食・物販施設など
- ※園路にはジョギングコース等を設定します。

みどりの賑わい・レクリエーションエリア

- ・体験学習・展示施設
- ・体験農園など

- ・森の散策路
- ・アウトドア体験施設
- ・日本庭園・休憩施設など

みどりの発信エリア

みどりの実践エリア

- 公園区域
- 道路(計画を含む)

※土地区画整理事業や、国際園芸博覧会の検討により、変更になる可能性があります。

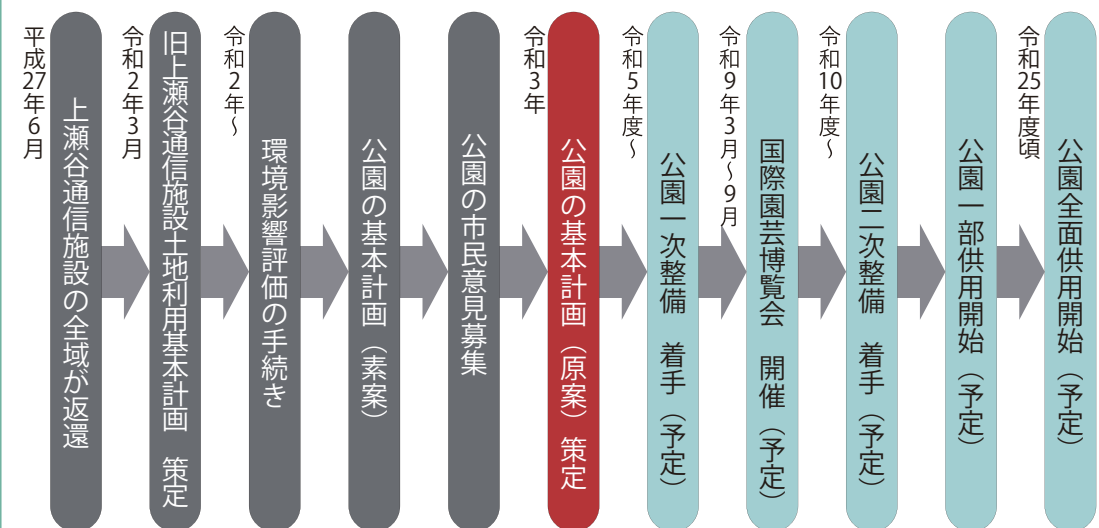
※具体の施設等は、計画を進める中で継続して検討していきます。



【公園整備の8つの方針】

- 1. 上瀬谷の「緑」と「水」を基調とした公園**
上瀬谷の原風景である農景観や、米軍施設の跡地という独自の歴史性により残された自然をいかした緑豊かな公園とします。
- 2. 国際園芸博覧会のレガシーの継承・発信拠点**
博覧会の跡地にできる記念公園として、SDGsの実現やSociety5.0、カーボンニュートラルの推進等の博覧会の理念などを継承していく公園とします。
- 3. 「農」と持続可能なライフスタイルの融合**
農体験ができる場の創出など、上瀬谷の農と持続可能なライフスタイルが融合し実践する場とします。
- 4. グリーンインフラの展開と緑の多面的機能の発信**
グリーンインフラの導入によって自然がもつ様々な機能を発信し、気候変動に適応した新たなモデルとなる公園とします。
- 5. 多様な主体が参画し、様々な楽しみ方を引き出せる公園**
市民や企業、周辺まちづくりなどと連携し、地域の祭りや広域的なイベント、スポーツやレクリエーション、公園の維持管理など、様々な場面で多様な主体が参加・運営することができる公園とします。
- 6. 四季を通じて楽しみながら自然と触れ合う心地よさや喜びを感じられる公園**
豊かな自然環境の中で、自然とともにある心地よさや喜びを感じながら、自然体験や環境学習などを行える公園とします。
- 7. 防災・減災に資する公園**
できる限りまとまったオープンスペースを確保することで、災害時には「広域応援活動拠点」や、地域の避難場所として防災機能を発揮するとともに、グリーンインフラの効果による減災機能も発揮できる公園とします。
- 8. 公民連携による質の高いサービスの提供**
民間活力の導入により、公園の利便性の向上と賑わいを創出する機能を配置します。

これまでの経緯と今後の進め方



※スケジュールは、現時点での想定であり、今後変更になる場合があります。

せやまるの

ちょっと解説



「みどりの賑わい・レクリエーションエリア」では、野球やサッカーの他にもいろいろなスポーツやレクリエーションが楽しめるように計画の検討が進められています。

みんなが楽しめる公園になりそうですね。



完成が楽しみだね！

